

中国 2021 年自転車輸出額が過去最高を記録

中国自転車協会は、本年6月、オンラインによる記者会見を開催しているが、その概要について、中国機電産品輸出商会は「自転車の輸出額は昨年過去最高を記録した」と題して、次のように伝えている。

中国自転車協会報道官の発表によると、2021年の自転車生産台数は7,639.7万台で、対前年同期比1.5%増となった。また、電動自転車の生産台数は4,551.1万台で、対前年同期比10.3%増となった。

業界全体の総収益は3,085億元で、総利益は127億元であった。また、輸出額は120億ドルを超え、対前年同期比53.4%増となり、過去最高を記録した。

中国自転車協会の副会長兼事務局長は、「2021年、業界は圧力を受けながらも、主要経済指標は軽工業平均を上回り、経済運営は生産量の増加、利益の増加、輸出の増加、損失の減少という“3つの増加と1つの減少”の特徴を示した」と言及した。

また、経済指標の回復に伴い、業界は積極的に調整対応し、製品構造の継続的な最適化とデジタルトランスフォーメーションの着実な加速という良好な状況を実現した。具体的には、自転車製品のグレードと付加価値のさらなる向上、電動自転車の軽量化、リチウム電気化、インテリジェント製品の急速な発展、二次産業の融合、新産業の着実な発展の共有などが挙げられる、としている。

同副会長兼事務局長はまた、「2022年に入ってから、原材料価格の上昇、人件費の高騰、物流の不備、為替レートの変動など、外的要因の影響により、業界運営に大きな下向き圧力がかかっている」と分析した。

特に、第1四半期の新型コロナウイルスの流行は、不十分な企業活動のスタートのため、不安定なサプライチェーンとなり、これらのことが、短期間で業界に打撃を与える原因となった。しかし、下半期にはコロナの流行が好転する中、業界は順調に推移するか、新たな開発機会を迎える見込みがある、としている。

その他、記者会見では主要企業の責任者が記者とのインタビューの中で、最近

の海外貿易状況、電動自転車のインテリジェント化プロセス、国内部品の技術的障壁問題や、国内外の市場環境、完成車と部品メーカーとの新しい関係などについて意見を述べた。

中国自転車協会は、業務の透明性をさらに高め、情報公開を促進し、業界の発展のための良好な世論環境を構築するため、報道官制度を制定したと報じられており、この記者会見は、協会の報道官制度が成立して以来、初の会合となった。

以 上

出所：中国自転車協会、中国機電産品輸出商会